

令和5年度 沖特研第1回評議委員会 記録(画面上にQRコード、80%で議決)

議題	訂正補足・質疑応答	決議
①今年度の役員体制	<p>補足)資料・・・中頭地区小学校評議員調整中 質問)浦添地区小学校支部長、奥平校長より役員体制についての提案(一部改正の提案) 4ページの資料にありますように、公立小中学校においては、国頭地区から八重山地区まで、地区ごとに分かれています。那覇地区のみ「那覇市小学校」「浦添市小学校」「那覇・浦添中学校」の3つに分かれています。那覇地区も他の地区同様1つの地区として組織化できないか。9ページの「運営について」にもあるように、持続可能な研究会にするためにも、組織のスリム化を図っていただきたいと思う。本年度からの改正が難しいのであれば、次年度からでも改正をお願いしたい。 回答)次年度の役員体制については、また協議を重ねながら体制を整えていきたい。(事務局)</p>	
②昨年度の事業・会計報告		議題①-③
②-1 昨年度の事業計画	<p>補足)6ページ参照。昨年度は九州大会も兼ねていた。当初計画にはなかったが、評議員会に確認をいただき、「性と命の学習会」を年度の後半に4回実施した。ご協力ありがとうございました。昨年度の資料には沖特研アーカイブを参照。(前事務局)</p>	<p>可決 投票率:93%</p>
②-2 昨年度の会計報告	<p>補足)収入約120万円、支出約60万円。収入約100%完納→578,700円+繰越金と言うことで、約120万円。これとは別に九特連、全特連から九州大会の大会補助で約100万円補助をいただき、九州大会に関してはほぼこちらから執行。支出は繰り越し金575,607円に収入の部の増38,601円、全部で634,000円繰り越して会計を終えた。 それから沖特研とは別に、8年に1回回ってくる九特連の大会に合わせて、沖特研で積み立てをしている。令和4年度に関しては積立金から支出がなかったので168万円そのままを令和12年度九特連まで積み立てという形になった。前回大会は美咲特別支援学校事務局で九州大会が行われた。そのときに250万円の支出があった。先ほど説明した九特連と全特連の大会補助費にこの沖特研の積立金を合わせると、次回、令和12年度九特連に関しての執行ができる見通し。(前事務局)</p>	<p>①賛成:39/反対:1 ②賛成:39/反対:1 ③賛成:38/反対:2</p>
②-3 昨年度の監査報告	<p>補足)事務局引き継ぎと同日に監査を行った。(前事務局)</p>	
③沖特研運営について		
③-1	<p>補足)岡越校長より→前年度の閉会の際、本研究会事務局を特支校のみならず、小中学校の運営への参加を呼びかけた。通常の学級にも対象者増加している。来年は名護特支と国頭地区の小中学校をからめながら運営していくのはいかがでしょうかと建設的な意見もあった。5月19日代表理事会(オンライン)全国47都道府県+指定都市55,6校くらいのうち、約半数が小中学校の校長。全国特別支援教育研究会10月19日徳島県大会、事務</p>	

	<p>局 3 名小学校校長 3 名、次年度の福井県大会も小学校校長など、全国大会規模が小中学校で取り組んでいるので、是非県でも、小中学校も一緒に取り組んでいけたら良いと思う。</p> <p>事務局長より→各支部、各地区事情があると思いますが、事務局運営については、今後も議論を重ねながらより良い方向へ進んで行けたら良いと思うので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。</p>	
③-2	補足)資料配付。	
④今年度の事業計画	<p>補足)資料11ページ参照。今年度年3回ある沖特研評議委員会は、今回のように参集型とオンラインでのハイブリッド式で開催する。7月28日令和5年度総会・記念講演は来校しての参加を推奨しているが、オンラインでの配信も予定している。第1回の評議委員終了後、会員へ案内を送付。</p> <p>10月全特連徳島大会は、徳島県での対面式。二次案内などは後日。</p> <p>11月10日研究大会分科会関係者会、役員ではなく、分会の係に当たっている人のみ。オンライン実施予定。</p> <p>12月1日オンラインにて、九特連研究大会リモート開催。後日提案。</p> <p>12月15日沖特連研究大会、対面式。役員へは後日依頼分送付。</p>	<p>議題④、⑤</p> <p>可決</p> <p>賛成： 35 / 反対： 0 投票率： 81%</p>
⑤今年度の予算・会計		
⑤-1 今年度の予算	<p>補足)収入の部、分担金は昨年度の学級数で試算のため、若干変動あり。</p> <p>九特連積立金訂正あり(R3のもの)。正しくは7ページの金額1,689,890円。総会までには訂正。</p>	
⑤-2 沖特研会計に関する確認・提案事項	<p>補足)①確認事項、分担金納入依頼5月に発送、7月には未納の請求をさせていただくので、次の総会までには完納のご協力をお願いします。10月には次年度の分担金依頼文を発送。</p> <p>②旅費について、令和3年度より支給をせずに、学校割当金からお願いします(依頼文発送済み)。</p> <p>③九特連に関して、次回の予算が足りているため、年額の積立金が1000円ずつを継続。</p> <p>提案事項、沖特研研究大会原則対面式、大会参加費1000円→500円として良いか。</p>	
⑤-3 分担金納入状況	補足)6月22日現在67%納入	
⑥今年度の研究大会について (粟国校長より議決方法について→議決メ切をいつの時点で閉めるか、伝えた方が良い。)		
⑥-1 今年度の研究大会	補足)⑤で議決→参加費500円として開催	議題⑥、⑦
⑥-2 今年度の分科会テーマ	<p>補足)R5分科会テーマについては、事務局で協議を重ねて設定。下の備考欄に示しているとおり、R3第3回評議員会にて、分科会は再編されており、今年度より再編されたテーマでの提案が行われる。次のページ別紙下に作成要領あり。</p> <p>質問)島尻、中農より質問あり。</p> <p>回答)再度丁寧に説明する時間を設ける。時間の都合上、事務局で引き取り、次回までに回答する。</p>	<p>可決</p> <p>賛成： 22 / 反対： 4 投票率： 62%</p>

⑥-3 今年度の研究大会 分科会役割分担	<p>補足) 21 ページ。表下の作成要領と過去の係割り当てをもとに、全支部できるだけ均等になるように設定。提案者の割り当ては前年度までで議決済み。提案割り当てになっている支部の役員は、この後報告をお願いします。会の進行には、もう一枠の運営の方に担ってもらう。司会を一人で実施。提案者の報告期日は後ほどスケジュールの確認で行う。</p> <p>質問) 島尻、中農より質問あり。</p> <p>回答) 再度丁寧に説明する時間を設ける。時間の都合上、事務局で引き取り、次回までに回答する。</p>	
⑥-4 沖特研分科会の 入れ替えについて	<p>補足) 九特連のテーマに合わせて沖特連の分科会テーマを入れ替えたい。</p> <p>2年後、3年後の変更だが、事務局としては提案したとおり、このように進める。</p> <p>質問) 島尻、中農より質問あり。</p> <p>回答) 再度丁寧に説明する時間を設ける。時間の都合上、事務局で引き取り、次回までに回答する。</p>	
⑥-5 令和10年度までの 分科会提案割当	<p>補足) 先ほどの議題⑥-4を踏まえて、令和10年度までの割り当てを提案。右の表にはそれぞれの地区の学級数、提案者数を過去10年間の割り当て実績が均等になるように設定。割り当てに関して取り組みが難しいという申し出がある場合は、前年度やその年度内で調整をしたい。令和6年度の課題別テーマに関して、事務局としては、ICT教育にしたい。意見などあれば、最後のアンケートで記入をお願いします。網掛けのセルは同年に開催される九特連、全特連の研究大会の提案も兼ねる。後ほど、来年度の九特連のテーマについて提案。</p> <p>質問) 島尻、中農より質問あり。</p> <p>回答) 再度丁寧に説明する時間を設ける。時間の都合上、事務局で引き取り、次回までに回答する。</p>	
⑦沖特研・九特連 事務局輪番の確認	<p>補足) 昨年度の議決内容なのでこのまま進める。九特連沖縄大会が昨年度無事終了し、8年に1回九特連の事務局が回ってきます。</p>	
⑧九特連・全特連について		<p>議題⑧</p> <p>可決</p> <p>賛成: 32 / 反対: 1</p> <p>投票率: 76%</p>
⑧-1 九特連 研究大会について	<p>補足) 令和6年度九特連佐賀大会、沖縄県の割り当てに変更の可能性あり、島尻地区小&名護特→九特連の決定後に決めたい。この進め方に関して承認をいただきたい。</p>	
⑧-2 全特連について		
連絡事項① 研究大会に向けた今後の スケジュール	<p>補足) 38ページに研究大会に向けた今後のスケジュールを載せている。提案者の報告メ切などご確認お願いします。</p>	
連絡事項② 全特連功労者推薦について	<p>補足) 43ページ、今年度は沖特研前会長の大城政之様を功労者として表彰する。</p>	
その他	<p>補足) 最後のページに出席確認とアンケートのQRあり、質問などあれば、送信よろしくをお願いします。</p>	